

<幼児教育学科>(認定課程:幼稚園教諭一種免許)

(1)各段階における到達目標

履修年次		到達目標
年次	時期	
1年次	春学期	「教育原理」において教育の理念と歴史、現状について日本ならびに諸外国の場合を概観するとともに、「教職論」において教職の意義、役割について理解することを到達目標とする。また、5領域の科目(環境)と教科の科目(保育音楽表現技術A、保育造形表現技術、保育身体表現技術)において、それぞれの基礎的内容を修得することを到達目標とする。
	秋学期	「保育原理」において幼稚園教育の基本について、幼稚園教育要領に基づいて幼稚園教育の理念と意義、教育内容と指導方法を理解することを到達目標とする。また、5領域の科目(健康)と教科の科目(保育言語表現技術、保育音楽表現技術B、幼児造形、幼児体育)において、幼稚園教諭1種免許に必要な事柄を修得することを到達目標とする。
2年次	春学期	「障害児の発達と理解」「指導計画と評価」を通して、幼児理解と指導方法について概観するとともに、5領域の科目(言葉、造形表現)において基礎的内容を理解することを到達目標とする。
	秋学期	保育内容研究(健康)、保育内容研究(造形表現)、ならびに5領域の科目(音楽表現、人間関係)について幼稚園教諭1種免許状に必要な事柄を修得することを到達目標とする。
3年次	春学期	「教育課程論」、「教育と社会」、保育内容研究(音楽表現)、保育内容研究(人間関係)を通して教育内容や教育課程について自信を深めていることを到達目標とする。
	秋学期	教育実習(幼稚園)に向けて、意欲を高め、「教育実習指導(幼稚園)」を通して、教職への自覚を高めていくことを到達目標とする。保育内容研究(言葉)、保育内容研究(環境)の修得を終えて、この時期までに5領域の科目のすべてを修得し、これらの科目を通して、幼稚園における教育方法の特色と園生活全体を通して、総合的に指導する体系を学ぶことを到達目標とする。
4年次	春学期	教育実習(幼稚園)において、幼稚園教諭としての職務内容や役割について実践的に学ぶとともに自らの今後の学習課題を明らかにすることを到達目標とする。また、支援の必要な子どもと家庭への対応を「幼児理解とカウンセリング」において修得することを到達目標とする。
	秋学期	教育実習(幼稚園)を終えて、幼稚園教諭としての自らの学習課題に取り組み考察することを到達目標とする。幼稚園教諭免許状に必要な科目の修得を終え、保育・教職実践演習(幼稚園)において、幼稚園教諭の職務とその内容について総合的に考察すること、および、模擬授業によって体系的に理解することを到達目標とする。

(2)具体的な履修カリキュラム

履修年次		具体的な科目名称						
		教職に関する科目			教科に関する科目	教科又は教職に関する科目	施行規則第66条の6に関する科目	その他教職課程に関連のある科目
年次	時期	科目区分	必要事項	科目名称				
1年次	春学期	1	ABC	教職論	保育音楽表現技術A		健康科学	スタートアップセミナー
		2	A	教育原理	保育造形表現技術		英語スキルI	
		2	B	教育心理学	保育身体表現技術		情報スキル入門	
	秋学期	3	B	保育内容(環境)				
		2	A	保育原理	保育言語表現技術		英語スキルII	教育研究入門A
		2	B	保育の心理学A	保育音楽表現技術B		情報スキル活用	
2年次	春学期	3	B	保育内容(健康)	幼児造形		スポーツA	
		3	D	教育方法学	幼児体育			
		2	B	障害児の発達と理解	幼児音楽		日本の憲法	
	秋学期	3	D	指導計画と評価			英語スキルIII	
		3	B	保育内容(言葉)			ポルトガル語入門I	
		3	B	保育内容(造形表現)				
3年次	春学期	3	B	保育内容研究(健康)				教育研究入門B
		3	B	保育内容研究(造形表現)			英語スキルIV	
		3	B	保育内容(音楽表現)			ポルトガル語入門II	
	秋学期	3	B	保育内容(人間関係)				
		2	C	教育と社会		幼児遊び研究		幼児教育課題研究A
		3	A	教育課程論				
4年次	春学期	3	B	保育内容研究(人間関係)				
		3	B	保育内容研究(音楽表現)				
		3	B	保育内容研究(環境)		幼児外国語研究		幼児教育課題研究B
	秋学期	3	A	保育内容総論				
		3	B	保育内容研究(言葉)				
		5		教育実習指導(幼稚園)				
4年次	春学期	4	A	幼児理解とカウンセリング				
		5		教育実習(幼稚園)		保育・教育インターンシップ		卒業研究
	秋学期	6		保育・教職実践演習(幼稚園)	幼児生活研究	子ども発達支援		卒業研究

<現代教育学科 現代教育専攻> (認定課程: 小学校教諭一種免許)

(1) 各段階における到達目標

履修年次		到達目標
年次	時期	
1年次	春学期	1. 建学の精神を理解し、大学で学ぶための基礎的な知識(第66条の6に関する科目の理解など)やコミュニケーション能力、学習スキルを身につける。 2. 義務教育の理念、歴史、方法、教職の意義に関する基礎的な知識、および児童・生徒の発達と学習に関する科学的な基礎知識を身につける。 3. 国語科、理科、音楽科の教育内容を理解する。
	秋学期	1. 教職の基礎となる幅広い教養(第66条の6に関する科目の理解など)と的確な自己表現力を身につける。 2. 社会科、算数科、図画工作の教育内容を理解し、国語科、理科、音楽科の教育方法の基礎を身につける。 3. 児童・生徒の心身の発達を理解、分析する能力および発達を支援するための基礎的な知識を身につける。
2年次	春学期	1. 教育課程の意義や編成を理解するとともに、教育に関するコンピュータの活用方法などを身につける。 2. 生活科、体育科、家庭科の教育内容を理解する。また社会科、算数科、図画工作の教育方法の基礎を身につける。 3. 小学校教育現場での実践的体験である観察実習に関する基礎的な知識を身につけ、必要な心構えをもつ。
	秋学期	1. 生活科、体育科、家庭科、道徳の教育方法の基礎を身につける。 2. 各教科の授業計画及びその指導に関する知識と実践力を身につける。 3. 学校における児童生徒の心理学的諸問題を理解するとともに、教育現場での観察実習を通して教育の現状等について理解し、分析する能力を身につける。
3年次	春学期	1. 教育実習協力校の現状を踏まえ、実習校の児童を対象に的確に指導することができる。 2. 教育実習での体験を振り返り、教職に関する自らの知識・技能全般における課題を発見する。
	秋学期	1. 教育に関する社会的制度的事項を理解し、教育の方法についての知識をもちそれを活用することができる。 2. 小学校における生徒指導の理論と方法について、特別活動指導法について理解を深める。
4年次	春学期	1. 教育相談について理解する。
	秋学期	1. これまでの学びと教育実習の体験を通して、自己の理解度や実践力を評価し自らの課題を克服する。 2. 学習指導や学校運営に指針をもち、教職に必要な実践力と使命感を高める。 3. 人権教育について理解する。

(2) 具体的な履修カリキュラム(小学校教諭免許状)

履修年次		具体的な科目名称						
		教職に関する科目			教科に関する科目	教科又は教職に関する科目	施行規則第66条の6に関する科目	その他教職課程に関連のある科目
年次	時期	科目区分	必要事項	科目名称				
1年次	春学期	2	A	教育原理(小・中)	国語科研究	多文化共生と教育	情報スキル入門	特別支援教育総論
		2	B	教育心理学(小・中)	理科研究	教育統計学基礎	健康科学	教育方法学B
		1	ABC	教職入門	音楽科研究	人権教育論	英語スキル I	
	秋学期	3	D	教育方法学A	算数科研究			
		2	B	発達心理学	社会科研究	教育ドラマ論	情報スキル活用	教育研究入門A
		3	B	国語科教育法	図画工作研究		英語スキル II	
2年次	春学期	3	B	理科教育法				
		3	B	音楽科教育法				
		3	B	算数科教育法				
	秋学期	3	A	教育課程論A	生活科研究	観察実習指導	日本の憲法	
		3	B	社会科教育法	体育科研究		英語スキル III	
		3	B	図画工作教育法	家庭科研究		ポルトガル語入門 I	
3年次	春学期	3	D	教育コンピュータ活用				
		3	B	生活科教育法		マイクローチーピング演習	スポーツA	教育研究入門B
		3	B	体育科教育法		読書指導論	英語スキル IV	
	秋学期	3	B	家庭科教育法		観察実習	ポルトガル語入門 II	
		3	E	道徳教育の指導法(小学校)				
		5		小学校教育実習指導		地域教育支援論	言語表現法演習	教育課程論B
4年次	春学期	5		小学校教育実習				
		2	C	学校制度と社会		生涯学習論		
		4	AC	生徒指導論(小学校)		学校心理学		
	秋学期	3	C	特別活動指導法(小学校)				
		4	B	教育相談(小学校)			言語表現法演習	
		6		教職実践演習(小・中)				

<現代教育学科 現代教育専攻> (認定課程: 中学校教諭一種免許(理科))

(1) 各段階における到達目標

履修年次		到達目標
年次	時期	
1年次	春学期	1. 建学の精神を理解し、大学で学ぶための基礎的な知識やコミュニケーション能力、学習スキルを身につける。 2. 義務教育の理念、歴史、方法、教職の意義に関する基礎的な知識、および児童・生徒の発達と学習に関する科学的な基礎知識を身につける。
	秋学期	1. 教職の基礎となる幅広い教養と的確な自己表現力を身につける。 2. 中学校教育の基礎としての小学校教育の内容を理解する。 3. 児童・生徒の心身の発達を理解、分析する能力および発達を支援するための基礎的な知識を身につける。
2年次	春学期	1. 教育の現状とくに小学校教育課程や児童・生徒の理解を深める。 2. 物理学分野の教育内容の理解および中学校理科の教育方法の基礎を身につける。
	秋学期	1. 教職に関する知識と実践力を身につけるとともに、教育現場での実践的体験を通して、教育の現状等について分析する能力を身につける。 2. 化学分野の教育内容の理解および中学校理科の教育方法の基礎を身につける。
3年次	春学期	1. 中学校教育課程の意義および編成の方法について理解し、2年次の学びを基礎に中学校理科の教育方法について理解を深める。 2. 2年次の学習を踏まえて、物理学分野、化学分野の観察・実験指導の技能を高める。 3. 生物学分野の教育内容を理解する。
	秋学期	1. 教育に関する社会的制度的事項を理解し、教育の方法についての知識をもちそれを活用することができる。 2. 生物学分野の観察・実験指導の技能を高める。また、地学分野の教育内容を理解する。 3. これまでの学びを基に中学校理科の授業計画を立てることができる。 4. 中学理科で取り上げるすべての分野の教育内容について実践的に活用する能力を身につける。
4年次	春学期	1. 中学校における生徒指導の理論と方法、特別活動指導法について理解を深める。 2. 中学校教育の現状と問題点、可能性について理解を深める。
	秋学期	1. 教育相談について理解する。 2. 教育課程や教科の教育内容についての理解および教育実習協力校の現状を踏まえ、実習校の生徒を対象に的確に指導することができる。 3. 教育実習での体験を振り返り、教職に関する自らの知識・技能全般における課題を発見し見直すことができる。 4. これまでの学びと教育実習の体験を通して、理科の学習指導や学校運営に指針をもち、教職に必要な実践力と使命感を高める。

(2) 具体的な履修カリキュラム

履修年次		具体的な科目名称						
年次	時期	教職に関する科目			教科に関する科目	教科又は教職に関する科目	施行規則第66条の6に関する科目	その他教職課程に関連のある科目
		科目区分	必要事項	科目名称				
1年次	春学期	2	A	教育原理(小・中)			情報スキル入門	理科研究
		2	B	教育心理学(小・中)			健康科学	
		1	ABC	教職入門			英語スキルⅠ	
	秋学期	2	B	発達心理学	環境生物学入門		情報スキル活用	理科教育法
		3	D	教育方法学B			英語スキルⅡ	
2年次	春学期	3	B	理科教育法Ⅰ(中学校)	理科概論A(中学物理)		日本の憲法	教育コンピュータ活用
					地球科学教育論		英語スキルⅢ	
							ポルトガル語入門Ⅰ	
	秋学期	3	B	理科教育法Ⅱ(中学校)			スポーツA	
					理科概論B(中学化学)		英語スキルⅣ	
							ポルトガル語入門Ⅱ	
3年次	春学期	3	A	教育課程論B	科学教育演習B(中学化学)			
		3	B	理科教育法Ⅲ(中学校)	科学教育演習C(中学生物)			
					理科概論C(中学生物)			
	秋学期				理科実験B(中学化学)			
		3	D	教育の方法と技術	科学教育演習A(中学物理)			
		2	C	学校制度と社会	理科概論D(中学地学)			
4年次	春学期	3	B	理科教育法Ⅳ(中学校)	理科実験A(中学物理)			
		3	E	道徳教育の指導法(中学校)	理科実験C(中学生物)			
	秋学期	3	C	特別活動指導法(中学校)	理科実験D(中学地学)			
		4	AC	生徒指導論(中学校)	理科特講A(中学物理)			
		5		中学校教育実習指導	理科特講B(中学化学)			
秋学期	5		中学校教育実習	理科特講C(中学生物)				
	4	B	教育相談(中学校)	理科特講D(中学地学)				
	6		教職実践演習(小・中)					

<現代教育学科 現代教育専攻> (認定課程:特別支援学校教諭一種免許)

(1)各段階における到達目標

履修年次		到達目標
年次	時期	
1年次	春学期	1. 特別支援教育の基礎理論を理解する。
	秋学期	1. 知的障害児の心理とその発達を支援するための基礎的な知識を身につける。
2年次	春学期	1. 知的障害児の生理や病理を理解する。
	秋学期	1. 発達臨床および発達障害についての基礎的な知識と具体的な支援方法を理解する。 2. 知的障害児の教育について基礎的な方法を身につける。 3. 肢体不自由児および病弱児の生理と病理について理解する。
3年次	春学期	1. 知的障害児の教育について応用的な方法を身につける。 2. 肢体不自由児および病弱児の心理について理解する。
	秋学期	1. 肢体不自由児および病弱児の教育方法を身につける。 2. 子どもごとに障害児の心理および教育的状況を把握する方法を身につける。
4年次	春学期	1. 重複障害児、LD児、視覚障害児、聴覚障害児の心理と教育方法について実践的に理解する。 2. 実習協力校の現状を踏まえ、特別支援学校の児童・生徒を対象に的確に指導することができる。
	秋学期	

(2)具体的な履修カリキュラム(特別支援学校免許状)

履修年次		具体的な科目名称										その他 教職課程に 関連する 科目
		基礎となる教諭の免許状に関する履修カリキュラム							特別支援教諭免許状に関する履修カリキュラム			
		教職に関する科目				教科に関する科目			特別支援教育に関する科目			
年次	時期	科目	区分	必要事項	科目名称	教科又は教職に関する科目	施行規則第66条の6に関する科目	科目	区分	中心領域	科目名称	
1年次	春学期	2	A	教育原理(小・中)	国語科研究	多文化共生と教育	情報スキル入門	1			特別支援教育総論	
		2	B	教育心理学(小・中)	理科研究	教育統計学基礎	健康科学					
		1	ABC	教職入門	音楽科研究		英語スキルⅠ					
	3	D	教育方法学A	算数科研究								
	秋学期	2	B	発達心理学	社会科研究	教育ドラマ論	情報スキル活用	2	知		知的障害児の心理	
		3	B	国語科教育法	図画工作研究		英語スキルⅡ					
3		B	理科教育法									
3		B	音楽科教育法									
2年次	春学期	3	A	教育課程論A	生活科研究	観察実習指導	日本の憲法	2	知		知的障害児の生理・病理	
		3	B	社会科教育法	体育科研究		英語スキルⅢ					
		3	B	図画工作教育法	家庭科研究		ポルトガル語入門Ⅰ					
		3	D	教育コンピュータ活用								
	秋学期	3	B	生活科教育法		マイクロティーチング演習	スポーツA	5	LD		発達臨床心理学	
		3	B	体育科教育法		読書指導論	英語スキルⅣ	3	知		知的障害児の教育A	
3		B	家庭科教育法		観察実習	ポルトガル語入門Ⅱ	2	肢		肢体不自由児の生理と病理		
3年次	春学期	5		小学校教育実習指導		地域教育支援論		3	知		知的障害児の教育B	
		5		小学校教育実習				2	肢		肢体不自由児の心理	
								2	病		病弱児の心理	
	秋学期	2	C	学校制度と社会		生涯学習論		3	肢		肢体不自由児の教育	
		4	AC	生徒指導論(小学校)		学校心理学		3	病		病弱児の教育	
		3	C	特別活動指導法(小学校)				5	知		教育アセスメント	
4年次	春学期	4	B	教育相談(小学校)		言語表現法演習		7	LD		重複障害児の心理と教育	
								7	LD		LD児の心理と教育	
								7	視		視覚障害児の心理と教育	
								7	聴		聴覚障害児の心理と教育	
	秋学期							8			特別支援学校教育実習指導	
		6		教職実践演習(小・中)		人権教育論		8			特別支援学校教育実習	

<現代教育学科 中等教育国語数学専攻> (認定課程: 中一種免(国語))

(1)各段階における到達目標

履修年次		到達目標
年次	時期	
1年次	春学期	建学の精神を理解し、大学で学ぶための知識や、学習スキル・情報スキルを身につける。教育学や教育心理学などの見地から教職に関する基礎的な知識を修得する。中学校国語科教員を目指すのに必要とされる国語学・近現代文学に関する一般・基礎的な知識を修得する。
	秋学期	中学校国語科の指導法について、学習指導要領との関係、学習指導案の書き方など基礎的な知識を修得する。古典文学や書道に関する一般・基礎的な知識を修得する。
2年次	春学期	特別活動や生徒指導・進路指導などの指導法を学び、教職に対する理解を深める。国語学・国文学に関する知識を深め、漢文学に関する一般・基礎的な知識を修得する。また、ポルトガル語の基礎を身につける。
	秋学期	道徳の指導法などを学び教職に対する理解をさらに深める。指導案の作成や模擬授業など、国語の授業の基本を身につける。国文学や書道に関する知識を深め、日本語教育に関する知識を修得する。また、ポルトガル語について簡単な日常会話ができるようになる。
3年次	春学期	国語の模擬授業を行うことを通して、授業の組み立て方と指導案の作成、発問や板書の方法など、中学校の教室で通用する実践力を修得する。
	秋学期	中学校教育実習に参加し、これまで大学で学修したことを中学校で実践する。実習後は、振り返りを通して、どういふ力が不足しているかを自覚し、今後の学修の目標を明確にする。
4年次	春学期	国語教育の中で、とりわけ表現指導について深く学び、その指導力を身につける。また教職に就くうえで、まだ不足している力・分野に重点を置いて学修を補い深める。
	秋学期	教職実践演習の履修を通し、大学での学修や、中学校教育実習での経験を総合し、教育実践力を培う。さらに、学校現場での教育ボランティアを経験し、教職に就くための実践的スキルを培う。一方で、卒業研究を論文にまとめ口頭発表を行うことで、4年間の学修の集大成を行う。

(2)具体的な履修カリキュラム

履修年次		具体的な科目名称						
年次	時期	教職に関する科目			教科に関する科目	教科又は教職に関する科目	施行規則第66条の6に関する科目	その他教職課程に関連のある科目
		科目区分	必要事項	科目名称				
1年次	春学期	1	ABC	教職入門(中学校)	日本語概論		情報スキル入門	多文化共生と教育
		2	A	教育基礎論	日本近現代文学概論		健康科学	教育統計学基礎
		2	B	学校教育心理学			英語スキルⅠ	
	秋学期	3	D	教育方法学B				
		3	B	国語科教育法Ⅰ(中学校)	日本語音声学		英語スキルⅡ	日本語スキル
					日本古典文学概論		情報スキル活用	芸術の世界
2年次	春学期				書写・書道A			
		3	B	国語科教育法Ⅱ(中学校)	日本語文法論		スポーツA	ポルトガル語入門Ⅰ
		3	A	教育課程論B	日本近現代文学演習		日本の憲法	芸術の表現
		3	C	特別活動指導法(中学校)	漢文学概論			
	秋学期	4	AC	生徒指導論(中学校)				
		3	B	国語科教育法Ⅲ(中学校)	日本語教育学			読書指導論
		2	C	教育制度論	日本古典文学演習			ポルトガル語入門Ⅱ
		3	E	道徳教育の指導法(中学校)	書写・書道B			日本語学講読
	集中							近代文学講読A
								古典講読A
								日本文化論A
3年次	春学期	3	B	国語科教育法Ⅳ(中学校)	漢文学演習			国際理解教育論A
								日本語教授法
								近代文学講読B
								古典講読B
	秋学期							日本文化論B
		4	B	教育相談(中学校)				国際理解教育論B
								国語教育課題研究
集中	5		中学校教育実習指導	言語表現法演習A				
	5		中学校教育実習					
4年次	春学期							言語表現法演習
	秋学期	6		教職実践演習(中学校)				現代文学講読
	集中				言語表現法演習B			
					日本語学研究法			
					日本近現代文学研究法			
	通年				日本古典文学研究法			卒業研究

